

事業収入申告書

令和◆年●月▲日

笠間市長 あて

申告者の住所 笠間市中央●-▲-▲  
 事業所名・屋号 笠間●●××工房  
 申告者の氏名 笠間 花子

実際に収入が減少したかどうかは令和2年分の申告を終えるまで市では確認することができないため、年間見込と実際の差が大きくなるよう提出時点までの実績にその後の見込みを加えて、年間見込として記入してください。

次のとおり申告します。

事業の名称及び事業の種類		笠間●●××工房(●●の製作及び販売)				
事業開始年月日		●●年●月●日				
区分		現年分		前年分		
		令和3年●月分	年間見込(A)	令和2年●月分(左記同月分)	前年合計(B)	
総収入	(ア)	売上金	●●円	●●円	●●円	●●円
		賃料				
		農業収入				
		未収金等				
		給料	●●円	●●円	●●円	●●円
	小計(ア)	●●円	●●円	●●円	●●円	
	(イ)	保険金等				
小計(イ)		●●円	●●円	●●円	●●円	
収入額合計(ウ) = (ア) - (イ)		●●円	●●円	●●円	●●円	
控除額	材料費	次の書類を添付してください。 ○記入した月(現・前年)及び前年の収入を証する書類 例1: 帳簿・給与明細書・預金通帳等の写し、確定申告書(令和2年分)の控え、源泉徴収票(令和2年分)等 例2: 現年分を5月とする場合、令和3年1月~5月までの帳簿(提出時点までの実績)と令和2年5月の帳簿と前年の確定申告書の控えが必要です。 ○事業を休業、廃業した場合 例: 「個人事業の開業・廃業等届出書」(税務署提出の控え)等 ○保険金、損害賠償等により補填がある場合 例: 加入の保険証書や支給決定通知書等の写し				
	仕入費					
	水熱光費					
	税金					
	健康保険料					
	年金保険料					
	交通通信費					
	経費額合計(エ)					控除額と差引額の箇所は記入不要です。
差引額(ウ) - (エ)						

〈市役所記入欄〉

要件判定	該当 ・ 非該当	②	
① (B) - (A) / (B) × 100 ≥ 30		③	